



**災害被災地復興自立支援事業報告会 『オラたちの復興 報告会 in 新潟』開催**  
災害被災地の助成先の復興活動各団体が一堂に会し、情報連携を図る初の試み

社会福祉法人中央共同募金会（会長：斎藤 十朗）主催、中越復興市民会議共催、マニユライフ生命保険株式会社協賛により、『オラたちの復興 報告会 in 新潟』と銘打った、各地の災害被災地の復興活動団体が一堂に会して情報連携を図ることをめざした活動報告会が、8月7日（金）、開催されました。

この報告会は、中央共同募金会がマニユライフ生命の協力のもと実施している「マニユライフ生命・中央共同募金会 災害被災地復興自立支援事業\*」の一環として企画されたもので、上記の支援事業により助成を受けた団体が集まり、それぞれの活動の成果を報告・共有するとともに、災害復興活動の意義を広く発信することを目的に、このほど初めての試みとして開催されたものです。

報告会は、新潟中越大震災被災地に近い越後川口市内の和食店の大広間を会場として開催され、合計10団体（新潟7団体、長野1団体、東京1団体、鳥取1団体）からの各代表を含む合計約24名が参加、中央共同募金会による進行のもと、大広間に車座に集った各団体代表による取り組み事例の報告と情報交換が、熱っぽい雰囲気の中で午後4時から6時までの約2時間に及んで行われました。

終了後、出席者からは、「災害直後はさておき、復興時期を対象にしての支援の取り組みは今までなかったが、この助成プログラムを通じて支援を得た上、他地域での取り組みも知ることができて勇気付けられた」、「似たような災害にあわれた被災地の同じ仲間が、それぞれの場所でこれだけ頑張っているというのを実感できたのが一番良かった。各地域の頑張りをもっと現場に伝えていきたい」、「今回の報告会で、各被災地域の話聞いて大変勉強になった。この各地域の活動内容をどう具体的な形で啓蒙し広げていくのか、また、10～20年後には誰がこの活動を引き継いでいってくれるのかなど、今後も考えていきたい」などといった、この初めての情報交換の機会の意義を高く評価し、今後の継続実施を求める積極的な声が多く聞かれました。

\*＝「マニユライフ生命・中央共同募金会 災害被災地復興自立支援事業」は、災害を機に疲弊の度を強める被災地にあって、地域社会に活気を取り戻すために復興活動を続けている住民の方たちの活動を支援し、併せて被災地の自立復興の困難な現状、広汎な復興支援の必要性等に関して幅広く啓蒙していく目的で、2006年5月に立ち上げられたユニークな取り組みです。



<写真> 和室広間に車座になって熱っぽい話し合いが続いた報告会の模様

### 【報告会概要】

- 名称： 「オラたちの復興 報告会in新潟」
- 日時： 2009年8月7日（金） 16：00～20：00
- 会場： 越後川口やな場 男山漁場（新潟県北魚沼郡川口町）
- 参加団体： 次頁一覧【第一期、第二期、第三期の助成実績】を参照
- プログラム： 16：00～18：00 災害被災地復興自立支援事業 報告会  
18：00～20：00 交流会
- 主催： 中央共同募金会
- 共催： 中越復興市民会議
- 協賛： マニユライフ生命保険株式会社
- 後援： 新潟県社会福祉協議会、新潟県共同募金会

### 【報告会・参加者コメント ※一部抜粋】

- 災害というと、災害直後が大変だというイメージが強くもたれがちだが、被災地では、長い長い復興活動が必要となってくる。その復興を支援する助成金にはとても感謝をしている。
- 助成活動を通じ、地域の連帯感が高まった気がする。政府には、細かなことをやってくださいとお願いしてもなかなか実現は難しいが、小さな地域にも目が届くこのような活動は本当に嬉しい。
- 助成金は大変有難かった。地域活性のために、更に頑張っていきたい。
- 今後は、被災地で何かをしたい、けど何をどうやればいいのか分からないという人も積極的にこの報告会に呼び、報告会を実施していきたい。

## 【助成実績】

### ●第一期活動団体

団体名	所在地	事業内容
下諏訪町 災害ボランティアの会	長野県下諏訪町	町内のボランティア連絡協議会の「地域の支え合い」をテーマにした研修会において災害時のボランティア活動に理解を促すためにシンポジウムを開催。
虎井町アーケード通り会	鹿児島県さつま町	復興をとげた姿を内外の皆さまに知っていただくとともに今次の災害を教訓として防災の取り組みや災害に強いまちづくりについて専門家の協力を得て勉強会を実施。
曾木校区 コミュニティ協議会 地域づくり実行委員会	鹿児島県大口市	被災地区住民の沈滞ムードを一掃するため「水田ツリー」を守り、地区住民と一般住民の交流を通じて被災地復興への契機とする。
特定非営利活動法人絆	長野県岡谷市	7月豪雨災害で被災した高齢者・障害者等を対象とした交流会を開催し、励まし、元気づけの機会とするとともに宅老所を拠点にして要援護者の福祉避難所のモデル訓練を行い、福祉関係者に課題提起する。
薩摩川内市社会福祉協議会東郷支所	鹿児島県川内市東郷町	住民の参加と協力を得ながら災害時・緊急時に高齢者や障害者に対し、必要な時にすぐに支援の手が届くような迅速な活動をする福祉組織のネットワーク化を図るために座談会、交流会の開催、緊急時連絡カードの作成、県防災センター見学会等を実施。
さつま町社会福祉協議会	鹿児島県さつま町	ボランティアとして活動するための基礎的な学習会の充実を図るとともに防災ボランティアを育成して災害に強い街づくりに役立てるために、災害ボランティアセンターの運営訓練、ボランティア体験学習、手話講座、高齢者ふれあいサロンとの交流を実施。
みやげじま風の家	東京都三宅村	島民ボランティア自身により運営される高齢者の暮らしの支援事業を行う。
中越復興市民会議	新潟県川口町	高齢者を中心とした地域住民自身が地域の魅力をweb媒体で伝え、交流と復興をめざすために、パソコン教室を開催。

### ●第二期活動団体

団体名	活動地域	事業内容
桐生市ボランティア協議会 災害ボランティアネットワーク桐生	新潟県柏崎市	中越地震災害で被害を負った柏崎市宮川地区に対する慰問活動実施事業
那須水害10年目イベント実行委員会(中心団体:那須町水害ボランティアセンター)	栃木県那須町	那須水害10年目イベント「ありがとう・感謝祭～再開と交流のとき～那須がつなぐ心と絆」開催事業
はぁ～とふる荒谷塾	新潟県川口町	中越地震災害で被災した荒谷集落の魅力を発信するための、コミュニティひろばの整備事業
ハンデ・ワークステージ たまり場 喫茶めぐ	新潟県柏崎市	中越沖地震災害で被災した、障がい者の働く「たまり場喫茶」において開催する、災害時の「障害者市民が地域で暮らすということ」講演会開催事業
福祉作業所 夢工房	新潟県刈羽村	中越地震、中越沖地震災害で被災した福祉作業所の立ち直りを支えるトレットペーパー加工作業の整備・拡充事業
フレンドシップ木沢	新潟県川口町	中越地震災害で被災した地域における、中山間地域における体験交流を通じた女性のエンパワーメントと高齢者の元気づくり事業
日野ボランティア・ネットワーク 若者ひの地域づくり支援隊	鳥取県日野町	若者地域づくり支援事業(悩みを抱える子ども達による、鳥取県西部地震の被災地域における農産物生産～販売事業)

(N)雪の都 GO 雪共和国	新潟県津南町	中越地震災害の被災地をつなぐ「信濃川花火 2009」シンポジウム開催事業
地域活動サポートセンター 柏崎	新潟県柏崎市	中越沖地震災害の経験にもとづく災害関連事業検証システムづくり事業
(N)スローライフ小千谷	新潟県小千谷市	中越地震災害で被災した耕作放棄地における「菜の花プロジェクト」事業(持続可能な循環型社会の創造をめざした)
(社)日本てんかん協会	東京都新宿区	被災体験に基づいて作成する、てんかんのある人に対する災害対応小冊子の作成・配布事業

### 【第三期助成決定先】

団体名	活動地域	事業名
浦柄復興委員会	小千谷市浦柄地区	浦柄復興記念誌作成事業
とちお同住会	新潟県中越、中越沖、能登地震被災地域の仮設住宅	被災地ほっとプロジェクト
塩谷分校	小千谷市塩谷集落	塩谷分校学習環境整備事業
特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	能登半島穴水町	「仮設以後」を迎えた被災地の穏やかな復興支援事業
夢咲き あっぷっぷ	新潟県小千谷市	みんなでアップアッププロジェクト
多世代交流館になニ～ナ	新潟県長岡市	スマイルリンクプロジェクト
特定非営利活動法人 いしかわ市民活動ネットワークセンター	石川県金沢市	能登半島地震を風化させないプロジェクト
景観推進委員会	長岡市小国町桐沢集落	成長するエコハウス整備事業
「公的援助法」実現ネットワーク被災者支援センター	神戸市中央区	被災者による被災者への生活・相談・支援活動

## 「マニユライフ生命・中央共同募金会 災害被災地復興自立支援事業」

「マニユライフ生命・中央共同募金会 災害被災地復興自立支援事業」は、被災地における被災地住民自身による生活、経済の復興自立に向けたプランを助成することにより、被災地で暮らす方々の潜在的な力を引き出し、被災地での新しい社会的事業・活動へつなげることを応援する新しいタイプの被災地支援の取り組みです。主に、マニユライフ生命からの寄付金を資金原資として、中央共同募金会が、被災地住民による地域の自立復興に向けた計画案を募集し、優れた計画案に対して助成を行います。

2006年に始まり、既に第一期(8団体に助成)、第二期(11団体に助成)の支援を実施しました。第三期は10団体に助成が決定し、今後支援を行っていきます。

## 社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK 歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。

## マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2009年6月30日現在4,210億カナダドル(3,620億米ドル)となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）